



浜名湖花博2014「浜名湖ガーデンパーク」会場

.....目次.....

・高林久雄新会長挨拶	2
・浜名湖花博2014開催	3
・静岡空港周囲部環境保全対策	7
・世界遺産三保松原の樹勢回復試験	8
・2月の大雪で森林被害	10
・学生の就労支援	10
・みどりのおたより（静岡県環境ふれあい課）	11
・麻機クリーン作戦でサクラ植栽	12
・富士市第二小学校樹名板設置	12
・中国の視察団 駿府城公園に	13
・造園施工管理技士会	13
・総会開催と功績表彰	14
・計報 栗松文男さん	14
・都市の緑化と野鳥	15

高林新会長挨拶



盛夏の候、皆様におかれましては益々ご健勝のこととお慶び申し上げます。

さて、過日は通常総会の開催にあたり多数の皆様方のご出席とご協力によりまして、いすれの議案も承認され無事に終了できましたことを改めて厚くお礼申し上げます。

また、図らずも今回会長の大役を仰せつかり、浅学非才の私としましては非常に困惑しておりますが、お引き受けた以上誠心誠意一生懸命努めてまいりたいと思います。静岡県造園緑化協会が今あるのも、顧みれば前会長片桐様はじめ多くの先人たちが、その時々、時代背景に即した様々な手当てをこうし、現在の公益社団法人を目指して頑張られた結果だと思っています。本当にありがとうございます。

そして今、何をすべきか役員の方々と検討を重ねながら、会員の皆様の期待に応え更に地域社会に貢献できる運動を進めてまいりたいと存じます。宜しくご指導をお願いいたします。

六月二十五日には「浜名湖花博2014」花と緑の祭典Ⅰが終了いたしました。(公社) 静岡県造園緑化協会としても、入場券の購入、庭園出店、土、日、祝日のイベント等それぞれの立場で協力し、静岡県、浜松市、そして訪れた方々への認知度を高めたことと思います。また、会場でのお客様との会話では改めて緑・花への期待が高いことも感じました。同時に花を含めた造園業としての提案方法を私たちが勉強していく必要も教えていただきました。貴重な体験となりました。

いつでも随かずに種を播く。繰り返し播けば必ず良い実になる。こんな言葉があります。私たちの業界の今に最も合っているのではないのでしょうか。たゆまぬ努力、研鑽、互いに補い合い良い方向を目指す。そんな組織づくりに寄与してまいりたいと思います。改めてご協力、ご支援をお願い致しましてご挨拶いたします。

浜名湖花博2014 開催



「浜名湖花博十周年記念事業」と「第31回全国都市緑化しずおかフェア」を併せて「花と緑のオーケストラ」水辺で奏でる未来の暮らし」をテーマに「浜名湖ガーデンパーク」と「はままつフラワーパーク」の二会場で開催しました。

「はままつフラワーパーク」会場は三月二十一日に、「浜名湖ガーデンパーク」会場は四月五日に開幕し、六月十五日の閉幕までに百二十九万三千二百八十九人の入場者がありました。当初の目標入場者数は八十万人でしたから、目標よりも五十万人もオーバーしたことになります。

これは、二会場方式にして相乗効果が出たこと、開会中の天気に恵まれたこともありですが、何よりも花や緑に対する県民の欲求に応えたものだと思います。リビータも多く訪れるたびにサクラ、フジ、バラ、クレマチス、睡蓮と次々に変わる花たちが楽しませてくれました。

会場の運営は、植物の維持管理、会場の案内など多くのボランティアの方々を支えられました。

静岡県は、四季折々の花が咲き

誇る花の名所が各地にあり、花きの生産額は百七十六億円（平成23年）と全国第三位となっています。また、ガーベラやバラ、洋ランなど、年間を通じて多種多様な六百七十四品目の花の生産が行われる、まさに「花の都」です。

これを契機に公共空間での花壇づくりや森づくりなど多様な形で広く県内各地に広げることが必要です。日常の暮らしの中に花や緑を取り入れた豊かな生活様式の実現に向け、花と緑に関する人材も着実に育てていくことが大事です。



花の手入れをするボランティアの皆さん



ネモフィラで彩られた「花銀河」



風立ちぬ湖畔の道



シバザクラに覆われた「花木園」



様々な形や色のチューリップ



印象派庭園 花美の庭



花みどりアート回廊



ふれあい花壇



こども広場

当協会の取組



当協会の出展した「イギリスの伝統的な田舎の庭」



子供たちにシバザクラ植栽指導



緑化相談



花木の販売



ミニ庭園の実演

当協会関係者の出展した庭



庭案2014 株愛樹園



彩園 (施工 株庭勘)



彩流 天龍造園建設株



～時の流れ～
特種東海製紙グループ(株特種東海フォレスト)



春和景明～和みの庭～ 日造協静岡県支部



再生と芝の庭 株理研グリーン

静岡空港周囲部 環境保全対策

富士山静岡空港の建設は「人と自然にやさしい空港づくり」を基本として、地域の皆さんの生活環境はもとより、自然環境の保全に十分配慮して進められてきました。

一、貴重生物の保全・植物移植・動物移植

工事を始める前に生息状況の調査をして、生育に適した場所に移植しました。また、数少ない植物などは、増殖による保全も行っていました。

二、自然環境の整備・調整池などの水辺環境整備／多様な生息環境の復元
それぞれの動植物にあった環境を復元したり、新しく作ったりしました。赤坂池下、千頭ヶ谷池の谷戸田を利用してビオトープを整備しました。

三、郷土種による緑化・郷土種の苗木生産／幼木根株の移植

空港建設地やその周辺で採取した郷土種の種子から育てた苗木（ポット苗）、工事を始める前に採った幼木や根株を造成の斜面等に植えて、緑の復元をしています。

四、森林環境のエコアップ・広葉樹林・人工林・竹林の整備
空港の周囲を緩衝緑地として整備することにより、多様な動植物が生育できる豊かな里山環境を復元しています。

平成八年度から昨年度まで当協会では空港造成にあたり、大規模盛土法面の郷土樹種・樹林化用の種子の採取技術の確立と広葉樹林の伐採跡地から法面への根株移植の可能性を検討しました。

また、自然環境への影響を最小限にするため、空港建設工事区域に生育する貴重植物の移植等の対策と事業用地内に地域の現存植生を復元するための業務（貴重植物等移植・復元・増殖・圃場管理・環境調査）を行いました。さらに、移植した植物が持続的に生育できるように、現地調査（移植地可能調査・活着率調査等）・森林管理の方法（実施の時期）等も提言しました。



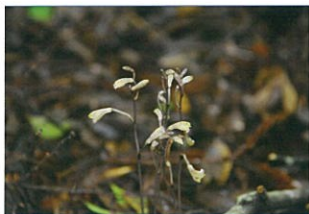
ナギラン



エビネ



カタクリ



ウスミヨウラン



フジタイゲキ

世界遺産富士山
三保松林の樹勢回復

当協会は、中部農林事務所の委託を受け、南飯田庭園の協力により、松林の樹勢を回復させ、病害虫に対する抵抗力を強める方法を試験するため、四つのプロットを設置した。今後、県や市と連携し、継続的に調査していく見込みです。

プロット1	プロット2	プロット3	プロット4
表土除去+木炭施工(溝きり)	対照区	表土除去	表土除去+木炭施工(スポット)
幅50cm深さ30cmの溝を掘り、木炭、菌根菌及び溶性リン酸を加え、その上を砂で覆った。	丸太枠の設置のみ	A0層及びA1層の除去	30cm×30cm×深さ30cmの穴を掘り、木炭、菌根菌及び溶性リン酸を加え、その上を砂で覆った。

プロットの大きさ:10m×10m



表土除去



溝切り



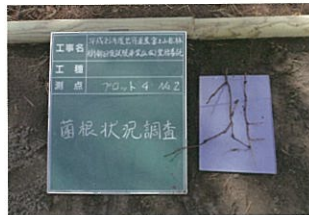
溝切り後の木炭施工



木炭施工(スポット)

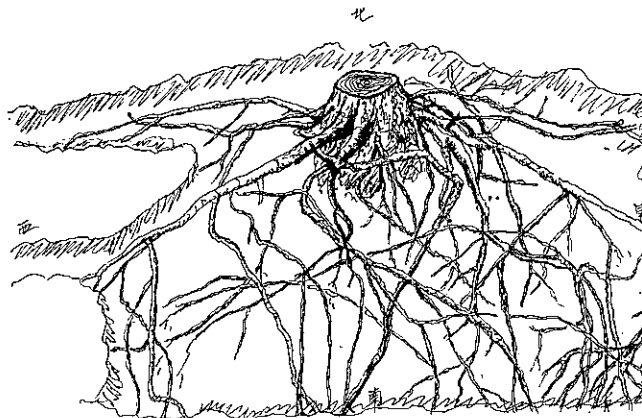


伐採したマツの根系調査

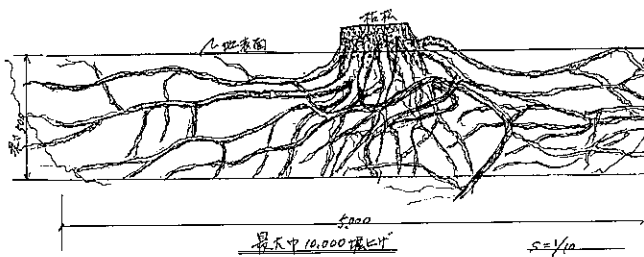


菌根状況調査

飯田正徳氏によるスケッチ



斜めに傾いたスケッチ



最大10,000単位

$S=1/10$

飯田正徳氏によれば、三保の松原のマツの生育状況は良くない。土壌が悪いため、葉の量も少なく、伸びも少ない。風の影響で砂に埋まっているため、根は酸素を求めて、先端ほど上に上がっている。表土を除去するだけでも効果はある。土壌改良により菌根菌が増えてくれば良い。

根系不況 No 792

スケッチ及断面

H26.7.26

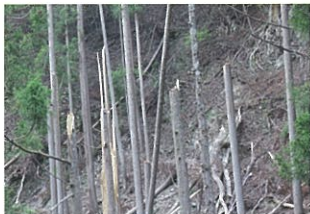
二月の大雪で 森林被害

平成二十六年二月十四日未明から冬型の気圧配置となり、二週続けて広い範囲に大雪となった。南岸低気圧が通過した影響で発生したものであり、上空の気温が低かったことから全国的に雨ではなく雪となりました。積雪量は関東平野部でも三十から八十センチ、甲信地方や、奥多摩、秩父、丹沢、箱

根、静岡東部などの内陸部では一メートル以上に達しました。浜松市天竜区水窪ではスギやヒノキの人工林で幹が雪の重みで多数折れました。県森林整備課の調べでは旧水窪町だけで被害面積百十七ヘクタール、被害額は七千万円を超えるそうです。

学生の就労支援

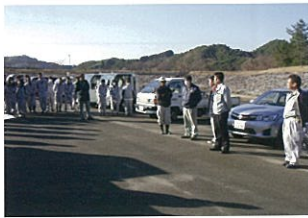
県立静岡農業高等学校の生徒二十五人を対象に平成二十六年一月二十八日から三十一日にかけて、当協会の中部支部の十七社で樹木の剪定、管理及び現場実習を指導しました。最終日の三十一日に中部支部の会員全員が集まって、藤枝総合運動公園で体験研修を行いました。



太い幹が折れている



国道474草木トンネル周辺



みどりのおたより 静岡県くらし・環境部環境ふれあい課

県立島田工業高等学校のグラウンドの芝生緑化の取り組みについて御紹介します。

島田工業高校では平成十三年度の新校舎完成以降、グラウンドから周辺民家への砂塵対策に追われてきました。学校側ではグラウンド中央部に人工芝を敷設したほか、土の部分への水撒きを頻繁に行うなどの対策を続けてきたものの砂塵取束には至りませんでした。

今年の四月下旬、学校側から「芝生による砂塵対策」について、芝生緑化を推進する県環境ふれあい課に相談がありました。芝生の研究調査に取り組む県芝草研究所では、今年度で芝草の施肥の時期・分量と生長の関係の調査を行うことから、研究調査の一環としてグラウンドの芝生化を支援することとなりました。

具体的には県芝草研究所が芝生ポット苗の提供、施肥、技術支援を行い、学校が生徒やPTAによる植栽・管理を行うという協働体制による芝生化が進められることになりました。



平成二十六年六月九日（月）、第一期施工として、同校の運動部員生徒約百人によるポット苗の植栽が行われました。当日は工業科の生徒が自ら製作した「ちゃんちゃんぐわ」を使用した姿も見られ、まさに「手作りの芝生緑化」となりました。生徒たちは固い土に手こすりながらも、芝生生長後の緑のグラウンドに思いを馳せつつ、黙々と作業を進めていました。

七月の中旬から下旬にかけて第二期施工として野球外野グラウンド部分の植栽も行われます。この部分で使われるポット苗は生徒たちの手で育てられたもので、自らの手による芝生管理のための準備も着々と進んでいます。



ポット苗作り

今後、県芝草研究所の技術支援のもとに、水遣り、施肥、芝刈りなどの維持管理も行われます。九月頃には「芝生開き」を行い、広くPRを行う予定です。

同校で行われたポット苗による芝生緑化は、比較的低コストで実施できることから、植栽後の芝刈り、水遣り、施肥等の維持管理を自ら行う体制を整えることができれば、ほかの学校でも今後導入が進む可能性があります。県としてもこうした取り組みが軌道に乗るよう、支援していきたいと考えております。



最近の状況

麻機遊水地クリーン 作戦でサクラ植栽



国際ことば学院の皆さん



開会式



シダレザクラの植栽指導



田辺静岡市長による記念植樹

平成二十六年五月十七日、麻機遊水地第四工区で開催されたクリーン作戦に中部支部の皆さんが参加しました。当協会はシダレザクラの植栽準備、植栽指導を依頼されました。植樹は田辺静岡市長のほか、静岡市駿河区にある国際ことば学院のネパール、ミャンマーなど八カ国の留学生たちです。当日は天気に恵まれ、青空の下、留学生は初めての植樹体験を楽しみました。

当地区では「人と生きものの共生」を目指し、人の利用空間、生き物の生息・生育環境、地域との関わりや景観など遊水地の自然環境のあり方を考え、また、その自然環境を保全・再生・創出及び維持管理をするために地域自治会、学識経験者、行政から構成する巴川流域麻機遊水地自然再生協議会を作っており、当協会も会員になっています。

富士市第二小学校 樹名板設置

富士市富士第二小学校は平成二十六年三月四日、全校児童六百六十五人が同校敷地内の樹木に種名を書いた板をくくりつけました。児童に身近な樹木の名前を覚えてもらい、自然への関心を喚起するのが狙いです。

富士地区林業振興対策協議会、県造園緑化協会などが寄付などで協力し、「富士ヒノキ」などで作った樹名板百三十枚を寄贈しました。

当協会では赤池造園㈱の協力により事前の準備と中庭の手入れを行いました。



中国の視察団 駿府城公園に



石垣の積み方の説明を聞く視察団

平成二十六年五月十九日（月）に中国雲南省から麗江天雨集団文化旅遊投資集団訪日視察団が来訪しました。訪日の目的は雲南省に「緑化園林テーマパークの設計建設」です。駿府城公園の坤櫓園庭工事などを施工された小林土木緑化の小林登社長に案内をしていただきました。石垣の積み方や松の手入れの方法など



マツの手入れの説明をする小林登氏

の説明を熱心に聞いていました。残念ながら、当日は紅葉山公園が休園日で中に入れませんでしたが、日本の庭の美しさに感銘をうけたようでした。
視察団一行は雲南省の投資グループでホームページによれば、役者や歌手を擁し、音楽イベントを企画・運営しているようです。



造園施工管理技士会 東部・中部支部

静岡県造園施工管理技士会東部・中部支部は平成二十六年三月二十八日から三十日に富士市（旧富士川町）岩淵にある重要文化財古鈴荘で実技技能研修を行いました。

古鈴荘は、富士川西岸の高台にあります。宮内大臣を務めた田中光顕が別邸として建てたもので、明治四十三年に竣工しました。大規模な貴顕住宅で、表向きの広間棟、大広間棟をはじめ、居間棟、応接棟、八角堂などの居住部分から、管理棟や板蔵などの家政部分まで全体が完存しています。大広間は延べ百四畳と広壮で、六畳大の大床を左右対称に配した特徴的な構成をみせています。また、全体は伝統的な和風意匠をとるが洋小屋の採用で木割を細くし、高い天井高を確保する等、近代的な技術も巧みにとりいれています。

総会開催と功績表彰

平成二十六年五月十六日、グランディエールブテローカイにおいて、当協会の定時総会を開催しました。会員出席者六十四名、委任状三十二名で過半数に達しており、適正に成立し、議案はすべて承認されました。役員の改選が行われ新会長にはみどり園樹の高林久雄氏に決まりました。

永らく造園業に従事され、その功績が認められた会員並びに個人の方々に、表彰状と記念品をお贈りしました。



来賓祝辞

会長表彰

株式会社 佐野緑化 様	株式会社 岳陽グリーン 様	株式会社 松浦造園 様	赤堀産業 株式会社 様	株式会社 大志建設 様	相磯 泰広 様	トヨタ緑産 株式会社 杉山 幸壽 様
-------------	---------------	-------------	-------------	-------------	---------	--------------------



受賞者の皆様

また、昨年度、技術、施工実績などの成績優秀で大臣・知事から表彰された方に、お祝いの品をお贈りしました。

大臣顕彰、知事表彰、知事褒章

株式会社 浮月園 太田 雅夫 様	有限会社 一窓園 鈴木 泉 様	株式会社 植源 立木 泰 様
------------------	-----------------	----------------



高林会長から片桐前会長へお礼の花束

訃報

当協会前々会長の
乗松文男さん

平成十六年度から十八年度の途中まで静岡県造園緑化協会会長を務められました乗松文男さんが平成二十六年六月一日、喉頭がんのため八十一歳で亡くなりました。六月四日、浜松市中区の「はまそう会館高丘」で葬儀が神式により執り行われました。片桐前会長、高林会長、川崎元専務理事も参列しました。

謹んでお悔やみ申し上げます。

「出逢った皆様、お一人ひとりに 感謝を込めてありがとうございます」

何をしても、一生懸命、どんな時にも頭を下げず、困難に出会えば先頭で立ち向かう、大きな人でした。花が好きで自然が好きな方には、造園業は天職だったかもしれません。一度は体調を崩しながら復帰できたのも、仕事への熱い思いが支えになったのでしょうか。にぎやかなことが大好きで、飲んで歌ってみんなで楽しく過ごすことが何よりも楽しみ。そのようなお付き合いをして下さる方がいたことは、夫にとって何よりも幸せだったと感謝の気持ちがおみ上げで参ります。

平成二十六年六月四日
喪主 乗松洋子

都市の緑化と野鳥



ムクドリ



ハシトガラス



スズメ

昭和の時代には都市にすむ野鳥は限られていてスズメ、カラス、ツバメくらいでしたが、この頃は協会の事務所がある静岡市呉服町でもメシロやコゲラは年中観察できます。これらの鳥は都市鳥と呼ばれていて、都市に依存あるいは適応して生息する鳥類のことです。都市は餌となる残飯などが多く、建造物の隙間が営巣場所として利用できるとに加えて、ヘビなど天敵も少ないなど、一部の鳥類にとって好適な生息条件になっているからたと言われています。しかし、一番の要因は緑化が進んでしかも個々の樹木がおおきくなってきたからだと思います。



ツバメ



ハクセキレイ



コゲラ



エナガ



カルガモ



メジロ



キジバト



ヒヨドリ



ユリカモメ

公園や街路の樹木は秋から冬にかけては様々な木の实がなり、新緑の時には多くの虫が発生します。樹冠部の繁みはわくらになります。ハシトガラス、ドバト、ムクドリなどの従来から都市に生息していた鳥に加えて、近年はカルガモ、ヒヨドリ、キジバト、ハクセキレイなども都市環境に進出し、繁殖するようになってきました。最近では豊かな自然の象徴といわれるタカ類も都市部に定着し、繁殖さえもおこなうようになってきます。静岡市役所にも冬の間ずっとハヤブサがいます。



ハヤブサ

公益社団法人 静岡県造園緑化協会会員

会員名	所在地	電話番号	会員名	所在地	電話番号
秋葉樹園	東伊豆町	0557-23-0648	秋葉合造園	静岡市駿河区	054-285-4928
木村造園緑	東伊豆町	0557-23-1635	秋葉グリーンサービス	焼津市	054-624-5593
秋伊豆急ハウジング	伊東市	0557-53-2166	加藤造園緑	焼津市	054-628-3235
秋広野園	伊東市	0557-37-3028	原田造園緑	焼津市	054-624-2610
秋穂源	伊東市	0557-45-0040	良知樹園緑	焼津市	054-624-1355
藤原造園緑	熱海市	0557-81-4240	新富士木造園	焼津市	054-624-4030
西村造園緑	熱海市	0557-82-7424	新杉村造園	焼津市	054-624-8941
森武造園	三島市	055-960-8139	新樹晃園	焼津市	054-629-1610
新伊豆植物園	伊豆の国市	0558-76-1564	森中造園緑化建設	焼津市	054-643-7282
大島造園土木秋静岡営業所	裾野市	055-997-2775	新大石造園	藤枝市	054-641-0161
秋富士見園	長泉町	055-986-6567	養樹園	藤枝市	054-641-4076
南正翠園	長泉町	055-986-3199	南太陽造園	藤枝市	054-635-7256
秋大綱造園	御殿場市	0550-83-9767	紅林造園	島田市	0547-46-1551
秋植正園	沼津市	055-921-0945	秋特種東海フォレスト	吉田町	0548-32-2507
南緑香苑	沼津市	055-931-0408	南若木造園	吉田町	0548-32-8887
秋大志建設	沼津市	055-923-1128	南松浦造園	御前崎市	0537-86-2684
秋翠石園	富士市	0545-71-2236	秋雄樹園	掛川市	0537-22-5951
南一窓園	富士市	0545-35-0123	田旗造園建設緑	掛川市	0537-24-5577
秋大松園	富士市	0545-52-5220	秋穂穂庭苑	掛川市	0537-24-4128
南常葉園	富士市	0545-35-0163	秋三宝園	掛川市	0537-22-9052
南翠光園	富士市	0545-36-2020	南小澤造園	森町	0538-48-6431
秋緑草園	富士市	0545-21-5083	南松月園	袋井市	0538-48-6592
秋望月庭園	富士市	0545-21-5195	秋山本造園	袋井市	0538-48-7884
南やまと園芸	富士市	0545-38-1958	秋片桐造園建設	袋井市	0538-43-4355
天野園芸緑	富士市	0545-81-0655	秋ハゲ代造園	袋井市	0538-44-0400
秋共立	富士市	0545-85-1213	トヨタ緑産緑	磐田市	0538-35-5528
南小林造園	富士宮市	0544-24-4533	秋庭 仁	磐田市	0538-34-3030
赤池造園緑	富士宮市	0544-24-3568	秋穂 勘	磐田市	0538-38-0529
秋佐野緑化	富士宮市	0544-27-2825	秋浮月園	磐田市	0538-38-0500
秋双葉グリーン	富士宮市	0544-26-3138	南永井造園	磐田市	0538-38-1901
秋岳陽グリーン	静岡市清水区	054-385-5034	南福垣造園	磐田市	0538-38-0790
南丸橋造園土木	静岡市清水区	054-375-2115	南松島園	磐田市	0538-34-4163
源平造園建設緑	静岡市清水区	054-366-5525	南大東園	磐田市	0538-32-0018
秋小澤造園	静岡市清水区	054-353-3774	秋東豊グリーンメンテナンス	磐田市	0538-55-3392
駿河緑地造成緑	静岡市清水区	054-351-2555	南暖花園	磐田市	0538-32-5025
南森荘造園	静岡市清水区	054-345-3859	南東海ガーデン	浜松市中区	053-471-1727
木下造園緑	静岡市清水区	054-334-0757	秋江間緑苗園	浜松市中区	053-453-3131
不二見造園土木緑	静岡市清水区	054-369-2515	秋庭 明	浜松市中区	053-455-3980
南東海造園	静岡市清水区	054-369-2119	秋庭 勘	浜松市中区	053-456-1165
春長園緑化緑	静岡市葵区	054-246-7512	みどり園緑	浜松市中区	053-455-4007
秋ひかり造園	静岡市葵区	054-253-6508	南太陽造園土木	浜松市中区	053-435-8585
秋森 造園	静岡市葵区	054-253-4659	秋エンター	浜松市東区	053-421-1180
静岡親愛緑	静岡市葵区	054-261-2094	秋大瀬造園	浜松市東区	053-434-4332
南飯田直園	静岡市葵区	054-245-0513	天龍造園建設緑	浜松市東区	053-592-4500
秋藤浪造園	静岡市葵区	054-245-9870	赤坂産業緑	浜松市西区	053-485-4631
秋静岡緑地建設	静岡市駿河区	054-669-9113	大協造園緑化緑	浜松市南区	053-449-4646
秋市川造園	静岡市駿河区	054-259-1819	ナイス緑地緑	浜松市北区	053-437-1128
秋理研グリーン	静岡市駿河区	054-283-5555	市川造園緑	湖西市	053-579-0736
秋西野造園	静岡市駿河区	054-283-3131	大村造園建設緑		
ソーアイ造園緑	静岡市駿河区	054-282-7971	南海重植木		
秋小林土木緑化	静岡市駿河区	054-264-6499			

私たちは造園・緑化樹木の整備、育成技術の研鑽に努め、

公益法人として、様々な活動を行っています。緑のことお気軽にご相談ください。

- 造園・緑化相談と緑への理解を深め親しんでいただく活動
- 緑化樹木の整備育成に関する技術研鑽と技術指導支援活動
- 災害時の応急復興活動・東日本大震災では震災直後に大徳町での瓦礫処理活動を実施
- 高齢求職者就労のための技術講習支援活動や高校生、大学生のインターンシップ受け入れ
- 環境や自然、樹木に関する調査活動や静岡県景観整備機構として景観形成活動

公益社団法人静岡県造園緑化協会

〒420-0031 静岡市葵区呉服町2丁目2番地

TEL 054-253-0586 URL <http://www.midorinotakara.org/>

平成26年7月発行

編集 啓発労働委員会

題字 桑松文男氏



公益社団法人 静岡県造園緑化協会は、この「ふじのくに 森の町内会」の紙を使うことにより、林地に帰される緑化を資源として活用し、静岡県豊かな森林づくりをサポートしています。